

# 第25回 兵庫県消防操法大会開催!

## 福崎町消防団が全国大会へ出場



発行所  
公益財団法人兵庫県消防協会  
神戸市中央区下山手通4丁目16番3号  
編集発行人 岸 谷 義 雄  
題字 井 戸 知 事

消すまでは  
心の警報  
ONのまま



平成二六年八月三日(日)、兵庫県広域防災センター・北グラウンドにおいて、第二五回兵庫県消防操法大会が開催されました。

当日は、台風一二号の影響で、時折強い雨が降りしきる中、県下各九地区から選抜されたチーム(小型ポンプの部一〇隊、ポンプ車の部八隊)が日ごろの訓練成果を存分に発揮し、熱気溢れる大会となりました。

大会は、大谷毅副会長が務める総指揮者を先頭とする入場行進で幕を開けました。

### 【開会式次第】

- 一、開会のことば (岸本副会長)
- 二、国旗掲揚
- 三、黙祷
- 四、優勝旗返還 (ポンプ車の部・南あわじ市消防団・小型ポンプの部・福崎町消防団)
- 五、大会会長あいさつ (岸谷消防協会長)
- 六、激励のことば (井戸知事)
- 七、来賓祝辞 (県議会総務常任委員会 北野委員長)
- 八、選手宣誓 (神戸市兵庫消防団 Aチーム 岡 覚)
- 九、審査長注意 (上り口広域防災センター長)

競技は、小型ポンプの部、ポンプ車の部の順に行われました。各出場隊とも訓練の成果を十二分に発

揮し、迅速かつ安全・正確な動作で火点に向けて放水が行われ、火点が落ちる度に応援団、観客から声援と拍手が沸き起こりました。

全出場隊の操法終了後、大会審査長から審査結果の発表が行われると、会場からは出場選手に対して惜しみない拍手が送られました。大会結果は次のとおりです。

### 【大会結果】

- ・小型ポンプの部
  - 優勝 福崎町消防団
  - 2位 三田市消防団
  - 3位 南あわじ市消防団
- ・ポンプ車の部
  - 優勝 南あわじ市消防団
  - 2位 六粟市消防団
  - 3位 西脇市消防団

表彰式の後、杉本防災監からの講評と浄慶副会長の閉会のことばをもつて、第二五回兵庫県消防操法大会は幕を閉じました。  
なお、この度、小型ポンプの部で優勝した福崎町消防団の出場隊の皆様は、十一月八日(土)東京臨海広域防災公園(東京都江東区有明)で開催される全国消防操法大会に兵庫県代表として出場します。がんばってください!!

(二面へ続く)



操法競技(放水)



選手宣誓



大会会長あいさつ(岸谷会長)

警戒は常に  
消防は備えるを  
そのための操法大会  
ここに

激励のことば(井戸知事)



小型ポンプの部 優勝 福崎町消防団



入場行進



操法競技 (放水準備)



操法競技 (ホースを担いで全力で走ります)



操法競技 (放水)



応援団の様子



岸谷会長から優勝旗を授与される福崎町消防団 (小型ポンプの部)



杉本防災監から優勝旗を授与される南あわじ市消防団 (ポンプ車の部)

# 平成26年度第1回 女性消防団員技術研修会開催！！

## ～「広報」について学ぶ～

(公財) 兵庫県消防協会



三田市消防団女性班の皆さん



三田市消防団女性班による活動事例発表



CPR体操



参加者全員でCPR体操

平成二六年七月一九日(土) 兵庫県広域防災センターにおいて、今年度一回目の女性消防団員技術研修会を開催し、県内二三消防団から九五名の女性消防団員が参加されました。

この度の研修会は、「広報」をテーマに開催しました。女性消防団員にとって、広報活動は、消防団活動の大きな柱の一つと言えます。女性消防団員が広報に携わること、受け手に、女性ならではのソフトな印象を持たせることが出来、消防団のイメージアップに繋がる大きな役割を担っていると考えます。

本研修会の構成は二部構成で、午前の部では、三田市女性消防団による活動事例発表

と三田市女性消防団樽口班長によるアナウンス講習を行いました。その際、午後からは広報メディア研究所所長の上野弘子氏を講師に迎え、「親しまれるチラシや広報紙」について講義していただきました。

まず午前の部で発表していただいた三田市女性消防団は、発足丸二年半ほどですが、市民向けの救急講習会の回数も多く、CPR体操を実施するなど、非常に活発に活動されています。このような発足間もない消防団の精力的な活動を知ることは、自団の活動を省み、女性消防団の更なる活動の活性化に繋がると考えます。実際に参加者からも、「楽しく学べた」「分かり易

かった」「発足間もないのに素晴らしい」という感想が寄せられ、参加者それぞれが良い刺激を受けたようです。

また、樽口班長のアナウンス講習は、さすがプロという雰囲気、参加者が皆、樽口班長の講義に引き込まれていました。実際に消防団の活動において、人前で話す機会が多い女性消防団員の皆さんには、実践しながらの講義というのがとても楽しかったようです。「とてもためになった」という感想が圧倒的に多く聞かれました。

また、消防団活動の為だけでは無く、「女子力アップ」のワンポイントアドバイスのような講義もお得感があり、参加者には好評でした。自分

自身の印象がアップすることは、所属消防団の印象を良くすることに繋がるので、とても実りある講義をしていただいたと思います。

午後からの上野先生の講義は、「広報」の基礎知識について、分かり易い言葉で教えて下さいました。先生が講義中、チラシも広報紙も、「相手を思いやる気持ちを持つこと」「手紙を書くように、心を込めて」とおっしゃっていたことが、とても印象に残りました。これは、当たり前のことであるかもしれませんが、多くの参加者が、気付かされた点だと思えます。

また、具体的にチラシを取りあげて、アドバイスをいただいたことが、更に分かり易かったようで、「とても参考になった」「今後の活動に活かしたい」との感想が聞かれました。



講師を務めてくださった樽口班長

樽口班長による参加者を交えながらの講義

ました。

この度の研修会で学ばれた内容を、各所属消防団での活動でも活かしていただければと考えます。

最後になりましたが、本技術研修会では、県広域防災センター長をはじめ、消防学校の皆さまにも多大なご協力を賜り、本技術研修会を滞りなく終了することができました。紙面ではございますが、厚く御礼申し上げます。

今後も、県消防協会では女性消防団員の活動に役立つ研修や、技術の向上に繋がる研修を企画していきたいと考えております！

多くの皆さまのご参加を、心よりお待ちしております！

参加消防団については、次のとおり。

・神戸市灘消防団



広報メディア研究所所長上野弘子先生

上野先生による広報の基礎知識の講義中

- ・神戸市中央消防団
  - ・神戸市北消防団
  - ・神戸市垂水消防団
  - ・姫路市姫路東消防団
  - ・姫路市飾磨消防団
  - ・尼崎市消防団
  - ・明石市消防団
  - ・洲本市消防団
  - ・芦屋市消防団
  - ・豊岡市豊岡消防団
  - ・豊岡市出石消防団
  - ・加古川市消防団
  - ・赤穂市消防団
  - ・宝塚市消防団
  - ・三木市消防団
  - ・川西市消防団
  - ・小野市消防団
  - ・三田市消防団
  - ・丹波市消防団
  - ・南あわじ市消防団
  - ・たつの市消防団
- ※上記参加者他、県内消防本部職員・市町防災担当職員二九名

# 8月16日からの大雨による 被災者支援対策等について

## 兵庫県

### 岸谷兵庫消防協会長

### 丹波市へ

### 兵庫県消防協会事務局

平成二六年八月の豪雨災害により、丹波市が大きな被害を受けました。岸谷消防協会長は九月三日(水)、被災した丹波市を訪問し、丹波市消防団長及び丹波市消防団市島支団専任副団長から被災状況の説明を受けられた後、お見舞い金を手渡され、災害現場の視察へ赴かれました。丹波市の、一日も早い復旧を願うとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。



被害状況の説明を受けられる岸谷会長



お見舞い金の手渡し

#### I 住宅・家財に関する支援施策

##### 1 被災者生活再建支援金の支給

###### (1) 丹波市にお住まいの方(被災者生活再建支援法適用)

以下のとおり、被災者生活再建支援法に基づく支援金、又は、県独自の支援金が支給されます。

支給対象世帯	支 給 額 (※1)	
	基礎支援金	加算支援金(※1)
全壊	100万円	建設・購入：200万円 補 修：100万円 賃貸(公営住宅以外)：50万円
大規模半壊	50万円	
半壊	25万円(補修等を行う場合)	
一部損壊又は床上浸水(※2)	15万円(補修等を行う場合)	
問い合わせ先	丹波市福祉部 社会福祉課 建設部 都市住宅課 TEL0795-74-0221 (代表)	

※1 基礎支援金を除き、住宅の建設・購入、補修等を行った場合に支給されます。  
 ※2 一部損壊又は床上浸水については、損害割合10%以上20%未満が対象  
 ※3 全壊、大規模半壊については、世帯人数が1人の場合、基礎支援金と加算支援金の合計金額の3/4の額となります。

###### (2) 丹波市以外の市町にお住まいの方

以下のとおり、県独自の支援金が支給されます。

支給対象世帯	支給額(※1)
全 壊	150万円
大規模半壊	75万円
半 壊	25万円
一部損壊又は床上浸水(※)	15万円
問い合わせ先	兵庫県企画県民部防災企画局 復興支援課 生活支援班 TEL078-362-4336

※1 住宅の建設・購入、補修を行った場合に支給されます。  
 ※2 一部損壊又は床上浸水については、損害割合10%以上20%未満が対象

#### 3 ひょうご住宅災害復興ローンの貸付

早期の住宅再建・補修を図るため、一部損壊にも対応できる住宅復興融資を実施します。

貸付条件	建設・購入	補 修
貸付対象者	全壊、半壊の被害を受けた被災者で、住宅の建設・購入を行う方	一部損壊以上の被害を受けた被災者で、住宅の補修を行う方
貸付 額	100万円以上500万円以内	10万円以上400万円以内
貸付利率	[1～5年目] 無利子 [6年目以降] 融資時の住宅金融支援機構の災害復興住宅融資利率	
貸付期間	25年以内	10年以内
受付期間	平成28年8月16日まで	平成27年8月16日まで
問い合わせ先	兵庫県県土整備部住宅建築局 住宅政策課 住宅行政班 TEL078-362-3611	

##### 【参考】住宅金融支援機構による災害復興住宅融資制度

貸付条件	建設・購入	補 修
融資対象者	全壊、大規模半壊、半壊の「り災証明書」の交付を受けた方	10万円以上の被害が生じ、「り災証明書」の交付を受けた方
融資限度額	1,500万円	660万円
融 資 利 率	1.18% [(平成26年8月21日現在)最新の金利は機構にご確認ください。]	
貸付期間	35年以内	20年以内
問い合わせ先	住宅金融支援機構 TEL0120-086-353 (又は048-615-0420)	

#### 4 被災者生活復興資金の貸付・金利負担の軽減

住宅又は自家用自動車に被害を受けた方への資金貸付及び金利負担の軽減を行います。

貸付対象者	・全壊、半壊、一部損壊、床上浸水の住宅被害を受けた方、又は自家用自動車に被害を受けた方(り災証明書等で確認します) ・世帯主又は主たる生計維持者(前年総所得金額730万円以下等)
資金用途	・被災家屋のうち、居住の用に供する箇所の補修 ・家具、家庭用電気製品等生活必需品の修理、買換え ・自家用自動車の修理、買換え
貸付限度額	300万円
貸付利率	無利子
貸付期間	5年以内(うち据置6か月以内)
保 証 人	原則不要
受付期間	平成26年9月～平成27年3月
問い合わせ先	兵庫県企画県民部災害対策局 災害対策課 訓練・指導班 TEL078-362-9982

#### 2 兵庫県住宅再建共済制度(フェニックス共済)共済給付金の給付

兵庫県住宅再建共済制度(フェニックス共済)に加入されている方には、以下の共済給付金が支給されます。

##### (1) 住宅再建共済制度の給付額

補 修 の 場 合	半壊以上で建築・購入の場合	600万円
	全壊	200万円
	大規模半壊	100万円
	半壊	50万円
	一部損壊(※1・2)	25万円
上記以外で賃貸住宅に入居等		10万円

※1 一部損壊(損害割合10%以上20%未満)の給付対象は、一部損壊特約加入者のみです。

(建築・購入の場合は25万円、賃貸住宅に入居等の場合は10万円を給付)  
 ※2 床上浸水(損害割合10%以上20%未満)も含まれます。

##### (2) 家財再建共済制度の給付額

全壊	50万円
大規模半壊	35万円
半壊	25万円
床上浸水	15万円

※床上浸水(水害以外は半壊)以上の被害を受けた住宅の家財を購入・補修する場合は給付対象となります。

問い合わせ先(公財)兵庫県住宅再建共済基金 TEL078-362-9400



3 法適用の状況  
 1 災害救助法の適用  
 丹波市  
 (適用日：八月一七日)  
 2 被災者生活再建支援法の適用  
 丹波市  
 (適用日：八月一七日)

二 被災者支援対策  
 兵庫県では、被災された皆様の日も早い復興を願いますので、ご活用ください(別紙参照)。これ以外にも各市町が独自で施策を用意している場合もありますので、各市町にもご確認くださいませますようお願いいたします。

一 被害状況  
 (平成二六年九月一八日 一五時現在)  
 1 人的被害  
 死者…二名  
 重傷…一名  
 軽傷…三名  
 2 建物被害  
 全壊…一七件  
 大規模半壊…八件  
 半壊…三九件  
 一部損壊…八件  
 床上浸水…一五八件  
 床下浸水…九六三件

II 生活に関する支援施策

1 見舞金等の支給

被災された方に災害弔慰金、災害援護金を支給します。

災害弔慰金	対象者	災害により死亡した方の遺族(配偶者、子、父母、孫、祖父母、兄弟姉妹)
	支給額	生計維持者500万円、その他の者250万円
災害援護金 ※申請不要	対象者	全壊、半壊、一部損壊及び床上浸水の被害を受けた世帯主及び重傷被災者
	支給額	・全壊世帯20万円 ・半壊世帯10万円 ・一部損壊世帯(損害割合10%以上)5万円 ・床上浸水世帯5万円 ・重傷被災者3万円
問い合わせ先	災害弔慰金：お住まいの市町、災害援護金：各健康福祉事務所 (兵庫県窓口：兵庫県健康福祉部社会福祉局 社会福祉課 福祉企画班) TEL078-362-9121	

2 県税、使用料・手数料の軽減措置等

被災された方の生活復興に向け、県税を軽減するとともに、使用料・手数料の一部を減免します。

(1) 県税の軽減措置等

自動車税(減免)	・減免解除した月分から減額	
自動車取得税(代替)	・減免額：代替自動車にかかる自動車取得税全額 ・取得期限：平成27年3月末日	
不動産取得税(代替)	・減免額：下記の計算式から算出した額のいずれか大きい額 ①被災家屋の価格×減免割合×税率 ②被災家屋の床面積×代替家屋1㎡価格×減免割合×税率 (65歳以上被災者が居住する住宅を同一市町内で建て替えた場合は被災家屋の床面積を超えた面積分についても減額します。 ・減免割合(家屋の場合)	
	被害の程度	減免割合
全壊	倒壊、流出等により家屋の原形をとどめないとき又は修復不能なもの	100%
	上記以外のもの	80%
大規模半壊		60%
半壊		40%
一部損壊又は床上浸水で家屋の損害割合が概ね10%以上		20%
上記の災害の程度に関わらず、被災家屋を取り壊した場合		100%
問い合わせ先	各県税事務所 -5-	

4 こころのケア相談

災害を受けたショックや恐怖不安などから身体やこころにも変化が起きる場合があることから、こころのケア相談を実施します。

実施市町	丹波市
相談内容	こころのケア相談(眠れない、気分が落ち込む、イライラする、ひきこもり、ストレスによる諸症状、心の健康に関する諸問題等)
問い合わせ先	・丹波健康福祉事務所 TEL0795-73-3767 ・丹波市健康課 TEL0795-82-4567 ・こころのケアセンター TEL078-200-3010 ・精神保健福祉センター TEL078-252-4980 ・いのちとこころのサポートダイヤル TEL078-382-3566 (月曜～金曜：18時～翌朝8時30分、土日祝日は24時間対応) (兵庫県窓口：兵庫県健康福祉部障害福祉局 障害福祉課 精神障害福祉班) TEL078-362-9498

5 現地住宅復興相談所の設置

被災住宅の再建・補修に関する無料相談窓口を設置します。

設置場所	丹波市役所市島支所1階(丹波市市島町上田448番地1) TEL:0795-85-2155
設置期間	8月28日(木)～9月10日(水)【土日相談可能です】 10:00～12:00/13:00～16:00 ※建築士による住宅再建・補修に係る専門相談は、上記期間のうち、9月1日(月)・3日(水)・5日(金)・7日(日)・9日(火)に実施します。
相談内容	・被災住宅の再建、補修等に関する相談(住宅融資制度の情報提供等) ・建築士による住宅補修に関する相談
問い合わせ先	兵庫県県土整備部住宅建築局 住宅政策課 住宅政策班 TEL078-362-3581

6 老朽危険空き家除却支援事業の実施

被災住宅のうち、倒壊等により危険が及ぶおそれのある空き家等の除却を支援します。

対象住宅	次の条件を満たすものが対象です。 ・8月豪雨災害により一部損壊以上の被害を受けた住宅で、空き家となっていること(今回の災害により被災して空き家となった住宅も含まれます。) ・倒壊等により周辺に危険が及ぶ恐れがあり、市町から条例・要綱に基づき、指導、助言を受けている空き家
補助形態	県から市町への補助(市町が所有者に対して実施する補助への支援)
補助対象限度額※	200万円
負担割合※	所有者1/5
※備考	補助限度額・負担割合については、市町により変動する可能性がありますので、詳しくは市町にお問い合わせください。
問い合わせ先	兵庫県県土整備部住宅建築局 住宅政策課 住宅政策班(住宅計画担当) TEL078-362-3583

7 県営住宅空き家の提供

一時的に住宅に困窮しておられる方に県営住宅の空き家を提供します。

使用期間	原則3か月以内(最長1年までの延長可)
使用料	全額免除
提供戸数	19戸(丹波市)
対象世帯	全壊・半壊・床上浸水の被災世帯
問い合わせ先	兵庫県県土整備部住宅建築局 住宅管理課 管理班(団地支援担当) TEL078-230-8470 -4-

(2) 使用料・手数料の減免

県立高校等授業料	①全壊、大規模半壊の被害を受けた方 ・被災した月～平成27年3月分を全額免除 ②半壊、一部損壊又は床上浸水(※1)の被害を受けた方 ・被災した月～平成27年3月分を1/2減額
県立大学等授業料	①全壊、大規模半壊の被害を受けた方 ・後期分を全額減免 ②半壊、一部損壊又は床上浸水(※1)の被害を受けた方 ・後期分を1/2減免
その他使用料・手数料	全壊、大規模半壊、半壊、一部損壊又は床上浸水(※1)の被害を受けた方 ・被災した日～平成27年3月末日までの申請分を全額減免 [例示：各種免許証の再発行手数料など]
問い合わせ先	県立高校等授業料 ・在学する県立高等学校 (兵庫県教育委員会 財務課 学校経理・整備班) TEL078-362-3744 ・兵庫県立柏原看護専門学校 TEL0795-72-0528 ・兵庫県立淡路看護専門学校 TEL0799-45-1115 (兵庫県病院局 経営課 TEL078-362-3216) ・兵庫県立但馬技術大学 TEL:0796-24-2233 県立大学等授業料 ・企画県民部管理局 大学課 大学振興班 TEL078-362-3128 ・兵庫県健康福祉部健康局 医務課 医療人材確保班(看護指導担当) TEL078-362-3251 その他使用料・手数料 ・企画県民部企画財政局 財政課 TEL078-362-3082

※1 一部損壊又は床上浸水については、損害割合10%以上20%未満  
 ※2 既に使用料・手数料を支払って手続きを行った方については、還付対応となります。

3 私立高等学校生徒に係る授業料の軽減

被災された方のお子様は県内及び隣接4府県(大阪府、京都府、岡山県、鳥取県)の全日制私立高等学校に通学されている場合に授業料の軽減を行います。

軽減内容	私立高等学校生徒授業料軽減補助制度により、被災世帯の生徒について、次の額を限度に補助します。 ・全壊、大規模半壊世帯：150千円 ・半壊、一部損壊又は床上浸水(※)世帯：75千円
問い合わせ先	兵庫県企画県民部管理局 私学教育課 私学教育班 TEL078-362-3104

※一部損壊又は床上浸水については、損害割合10%以上20%未満

# 消防団。ピックアップ

Pick Up!

## 『新たな活動を通して支える地域社会』

### 神戸市西消防団押部谷支団

神戸市西区は九つある神戸市の行政区で最多の人口(約二四七、七〇〇人)を数え、市の三割近くの面積(一三三八平方キロメートル)を有しています。その西区を管轄とする神戸市西消防団は七つの支団で組織され、私が所属する押部谷支団は区内の北東部に位置し、団員一六四名(支団本部・六分団一・一班)で構成されています。

近年は災害に加えてゲリラ豪雨や竜巻等の自然災害が頻発し、各方面で消防団の活動が期待されています。押部谷地域では阪神・淡路大震災以降大規模な災害に直面しておらず、そうした中、防災や減災に取り組むべく、地域の防災福祉コミュニティと連携し、



人形を用いての実習

また定期的な訓練や資機材の点検等を欠かさずに行っています。更に数年前からは従来のこうした活動に加えて「人命救助」という大きなテーマにも取り組んでいます。

神戸市では市民救命士の養成(普通救命講習)を行っており、その需要が多いことから平成一八年度、民間救急講習団体(FAST: First Aid Support Team)の認定制度を始めました。この制度では消防職員の立ち合いが無くても、救急インストラクター(応急手当普及員)自らが講習を実施し、講習修了証を発行できます。

神戸市西消防団もこの民間救急講習団体に登録したことから、押部谷支団では積極的



真剣な眼差しの中学生

にこの活動への参加を所属団員へ勧め、なおかつ支団本部は全員資格をとるべくチャレンジしてきました。ただし、救急インストラクター資格を取得するには先ず、三日間の講義と実技を受講し、効果測定(実技及び筆記試験)で八割以上の得点が必要となります。また受講日程も三週連続の日曜日開催ですので、日程調整が必要となってきます。

ですから多くの団員に一度に大勢の受講を期待できませんが、今年度は新たに六名が合格し、現在二〇名が有資格者

となつて活動しています。主な活動の場として、学校や(中学校や高等学校のカリキュラムとして設けられています)、自治会などの団体・市内の職場への出張講習会があります。多くの場合平日の日中が活動となるため、講習会で指導することは難しいことではあるのですが、多くの人に救命の必要性や有効性について実習を交えて体験してもらい、それを日常で起こり得る場面で活かせてもらえたらと思いつながりながら時間を割いて頑張っています。

実際、数字からも救急車等が到着するまでの時間に応急手当が施された場合と、そうでなかった場合とでは大きな差があります。市民救命士が増えることで救われる多くの命や早期に社会復帰できることは地域住民の日々の安心・安全に繋がり、各方面でさげばれる「自助」・「共助」でも大きな役割を果たせます。押部谷支団では今後もこの活動の輪を少しでも大きなモノにしていけるように団員一人一人が意識し、期待に応えられるよう奮起していきます。

## 『市民を守れ!消防団』

### 南あわじ市消防団

南あわじ市消防団は、四方面隊五九分団、団員二、一九〇名で構成されており、市民五〇、〇〇〇人の生命・財産を守っています。

消防団活動では、小型ポンプや消防車、消火栓などの器具点検の他、毎年地区消防操法大会から始まり方面隊消防操法大会・市消防操法大会を実施しており、消防技術の向上に努めています。

今回、兵庫県消防操法大会(小型ポンプの部で三位になった出場隊は更に淡路大会を勝ち抜き出場したため四度の大会を経て県大会で好成績をおさめました。

また、火災予防啓発の一環として広報パレードを行うほか、消防活動時には火災予防を促す意味で消防車パトランプを回し火災滅の徹底に努めています。

なでしこ分団(女性消防団)の消防活動においてもAEDを使用した救命講習・火災予防広報活動に活躍しています。

近い将来発生が予想される南海地震では、地震の揺れに加え、津波による甚大な被害が予想されています。特に沿岸部に所在する福良地区では、約八・一メートルを超える津波により既存の防波堤では被害を防げない状況であり、阿万地区においても五・九メートルを超える津波の発生が懸念されます。

平成二三年三月一日に発生した東日本大震災以来、特に消防団への地域防災に対する役割・期待が益々大きくなつています。

自治会や自主防災組織、消防本部・警察と連携して津波による被害を最小限に抑えることを目指し、ひとりでは避難に支障をきたす災害時要援護者については民生委員と自治会組織とが連絡調整しながら支援計画の協力をし、消防団を中心として災害減災に努めなければなりません。

兵庫県最大の被害が予想される福良地区には水門や樋門などの扉を確実に閉鎖するため建設された「福良津津波防災ステーション」を平成二二年度に完成しました。

施設内は二階に防災学習室があり、市民や観光客をはじめ、一般来館者への津波防災の啓発、研修、小学校への課外授業など地域防災啓発拠点としての役割を果たしています。

南あわじ市にお越しの際は、福良港防災ステーションにお立ち寄りください。

最後になりますが、市内には美味しい魚介類・淡路ビーフ・豊富な野菜のほか、世界一のうずしおと頼りになる南あわじ市消防団が市内にいますので、是非南あわじ市にお越しください。よう、重ねてお願いします。



淡路牛(イメージ)

## わが町の団長さん

### 『より良い消防団に!日々努力の消防団長』

神戸町消防団長

山下 直樹



神戸郡神戸町は、平成一七年一月七日に神戸町と大河内町が合併し誕生しました。兵庫県のおぼ中央に位置する人口約二二、二〇〇人余り、面積二〇二・二七平方キロメートルの町です。面積の八割を山林が占めており町町ヶ峰を筆頭に千ヶ峰・晴晴山など一、〇〇〇メートル級の山々に囲まれた自然豊かな町です。

また、峰山・砥峰高原は関西地方でも有数の高原地帯となっており、映画「ノルウェイの森」、大河ドラマ「平清盛」、「軍師官兵衛」のロケ地にもなりました。西日本有数の約九〇ヘクタールに及ぶ広さを誇るススキの大草原が広がっており、秋には一面にススキの穂が波打つ壮観な景色に。他にもきれいな水にしか咲かないバイカモ、幻想的に舞う蛍など四季を通じ自然に触れ合うことができる町です。

山下団長は平成三年四月に入団以来、分団長、副団長を歴任後、平成二六年四月に団長に就任されました。

着任早々、当町において火災が頻発しましたが、常備消防の方々の協力と団長自身の知識と経験を生かした的確な指揮により、大事に至ることがなく早々に消火することができました。

消防団活動に従事するには、団員の家族、地域住民の方々の理解と協力が不可欠です。沢山の方々の理解と協力がなければなりません。団長は、そのためにはいろいろな世代から消防団の活動や行動を厳しい目で見られているという意識を持つて、人間力の向上に努力し消防団に対するファンを増やし、消防団員が活動しやすい、あるいは入団しやすい環境作りが重要とお考えです。そのために団員や地域住民の方々と積極的に対話を行い、より良い消防団をつくり上げるべく様々な活動に取り組んでおられます。

また、災害を未然に防ぐための予防活動を重視し、火災予防広報や住民の方々の初期消火訓練、機械器具の点検、合同消火訓練など有事の際に活躍できるように、しっかりと準備するよう常々、団員に指導されています。

火災だけでなく、近年の異常気象による甚大な被害は社会的影響が大きく、地域住民の消防団に対する期待はますます大きくなつています。三分団六九一名の団員をまとめ、地域住民の理解と協力を得ながら有事に活躍できる消防団を目指し、日々努力をされている団長です。

わが町の団長さん

「優・厳・実行の  
団長さん」

明石市消防団長

安達 哲哉



明石市は、東経一三五度の日本標準時である子午線上で

瀬戸内海に面し、遠く万葉の昔には、柿本人麻呂らの歌人によって詠まれ、紫式部の源氏物語の舞台にもなり、また坂本龍馬もこの地で詠歌を残しています。

この明石市の消防団のリーダーが、今年度から就任された「安達団長」です。

昭和四七年に入団し、平成七年の阪神・淡路大震災時には、未曾有の大災害に対し、副分団長として団員を取りまとめ、この町を守りました。

団長は、消防団の長であるだけでなく、団員の父親役として、現場や訓練時には厳しく指導を行い、団活動外では、団員の気持ちを大切に、頼りにされている優しい父のような団長さんです。

また、常に市民を守ること念頭に、市民の安全を図るため、活動をしています。

まさに「有言実行」と、「優・厳・実行」を兼ね備え、地域の防災リーダーとして防災力の一層強化を願っている団長であります。

まもなく、あの阪神・淡路大震災から、二〇年たちます。が、当時の教訓を活かし、こ

れからも消防団の装備の充実や団員を強化し続け、これからは必ず起きると予測されている東南海地震やその他の大災害に適切に対応できる人材育成に力を注いでおられます。



明石市子午線 (イメージ)

われら  
若手消防団員

消防団に入団して

加古川市消防団 米田分団 青田 修伍



「憧れのあの先輩みたいになりたい！」私が消防団に入団したきっかけは、同じ職場の憧れの先輩が消防団員だったことからでした。消防団活動を熱く語る先輩の話を聞いて興味が出てきた時、地元消防団の先輩たちが「一緒にやらないか」と声をかけてくれました。

加古川市消防団米田分団は、分団長はじめ団員全員の防災意識が非常に高く、地域の安全・安心のために熱い気持ちを持った分団です。

管轄は、加古川市を流れる一級河川「加古川」の西側地域で、古い街並みや開発地域もあり、市街地での火災や河川においての災害を想定し、日々訓練を重ねています。

私は、平成二四年四月の入団以来、総合訓練、定例訓練、地域の防災訓練等、日々尽力していました。そんな時、分団長から「ポンプ車操作法の隊員をやらせないか」と声をかけられました。

ポンプ車操作法がどのようなものかも理解していなかった私は軽い気持ちで引き受けました。

初めてポンプ車操作法の訓練に参加したとき、「こんなにも苦しい訓練なんて」と後悔しました。でも、分団長をはじめ幹部の方たちや諸先輩方また常備の消防署員がサ

ポートしてくれている姿を見て、「この訓練を通して消防団員としてのスキルアップを図り、地域や市民の生命、財産を守り続けていこう！」と強く決意しました。操法では、先輩方に細かい部分を指摘していただいたり、何度も撮影した映像を見ながら夜遅くまで話し合いを重ねたりした結果、第二五回東播磨地区消防操法大会ポンプ車操法の部で優勝し、県大会への出場権を獲得することができました。加古川市消防団の代表として誇りを胸に、県大会ではこれまで支えてくれた方達のために自分自身のベストを尽くしました。

そして今後は、緊急出動や日々の訓練はもとより、懸念されている東海地震、東南海・南海地震に備え、生命、財産の大切さを地域や市民に解ってもらえるよう努めるとともに、地域の方々と一緒に、防災活動に励んでいきたいと思っています。

私は、消防団に入団して、「地域の安全・安心を守る」という共通の目標を持った人たちと過ごしていく時間の中で、憧れの先輩に一步でも近づけていけるような気がしています。



がんばってます、女性消防団員

『地域の  
防災リーダーとして！』

宝塚市



「ファイ太くん」の前で敬礼

昨年四月、地元自治会の協力のもと、宝塚市初となる五名の女性消防団員が誕生しました。

四月の入団式、応急手当普及員の資格取得、各種イベントでの消防広報や防火防災の普及啓発活動、消防操法競技会での進行役や年末火災特別警戒、出初式での消防広報等を実施しました。

また、県下の女性消防団員研修では、他市の女性消防団員の皆さんの雄姿を目の当たりにして、非常に刺激となり、今後の消防団員活動における私たちの目標となりました。

今年度は、応急手当普及員として積極的に救命講習に参加し、より多くの市民に応急手当の重要性和技術を伝えてい

きたいと考えています。

その他にも、今年二月に日本損害保険協会から寄贈された軽消防自動車、愛称「ファイ太くん」を活用して、火災予防広報も積極的に実施していく予定です。

これからも様々な訓練や研修に参加し、市民に安心感を与えることのできる消防団をめざし、地域住民とのふれ合いを大切にしながら、消防団活動に取り組んでいきたいです。

現在は、女性消防団員は五名です。今後は、より多くの女性消防団員の入団を促進し、宝塚市消防団のさらなる活性化につなげていければと考えています。

# 地域のお知らせ

## 高砂市

### ♪高砂やこの浦船に帆をあげて♪

古くからめでたい謡曲「高砂」(世阿弥作)で知られる高砂市は、兵庫県南部、播磨平野の南部に位置し、東に加古川が流れ、南に瀬戸内播磨灘を臨み、白砂青松の風光明媚な泊として栄えてきました。近現代になると大阪や神戸などの大都市に近いことや豊富な水があること、埋め立てしやすい遠浅の海岸などが企業の立地条件となつて、機械・製紙・化学・食品・電力などの大工場が進出し、播磨臨海工業地帯の中核となりました。

市内には、高砂神社・生石神社・鹿嶋神社・曾根天満宮・十輪寺などの寺社や石の宝殿などの史跡も多く、市内各神社の秋祭りなどの行事には多くの人が訪れる観光地にもなっています。

今年七月一日には市制施行六〇周年の節目の年を迎え、様々な「高砂市制六〇周年記念事業」を展開しているところと



### 日本三奇ネットワークを 目指す

宝殿山山腹の生石神社に祀られている御神体「石の宝殿」は幅約六・四メートル高さ五・七メートルもある巨石です。周囲に水が溜まってお

り、小さな池の真ん中に浮いたように見えるので「浮石」という異名もあります。何を目的に作られたのか定かでないなどの多くの謎に包まれ、「塩竈」(宮城県塩竈市)の「塩竈」、桐嶋神社(宮城県高砂町)の「天の逆鉾」とならんで日本三奇の一つに数えられています。市は、東日本大震災の職員派遣で塩竈市とのかかわり、日本三奇を縁に文化スポーツ交流を開始しました。今年七月に実施した「高砂市制六〇周年記念式典」において、所在する三市町により【日本三奇宣言】を行い、連携してPRを行っています。



石の宝殿：浮石

### 高砂市のマスコット 「ぼっくりん」

縁結び、夫婦相合の象徴「尉と姥」が宿る相生の松の妖精「ぼっくりん」が平成二一年三月に誕生しました。平成二六年四月には、市の観光大使に任命され、市制六〇周年を記念して五月三十一日、六月一日に高砂市で開催されたご当地グルメ・物産・キャラクターの祭典「ご当地博」では、ホストキャラクターを務



消防士「ぼっくりん」

### 松右衛門帆

我が国の近代的帆布の生みの親である初代工業松右衛門は、一七四三年に高砂町に生まれました。松右衛門は、それまでの貧弱な帆布の代わりに、太糸の播州木綿を使った厚地広幅の丈夫な帆布の織り上げに成功。以来この帆布は「松右衛門帆」と呼ばれ、長らく日本の水運を支えました。そんな「松右衛門帆」を新たな地域ブランドにするべく、高砂物産協会が、神戸芸術工科大学との協力で帆布を復元し、松右衛門帆を使ったバッグは、松右衛門ゆかりの神戸や瀬の浦などをイメージさせる豊富なカラーバリエーションで、大阪などの百貨店でも販売されるなど、その伝統と技術に人気が集まっています。



松右衛門帆バック

## 官兵衛の里・西脇市

現在放映中のNHK大河ドラマ「軍師官兵衛」の主人公である黒田官兵衛。実は、官兵衛の生まれが西脇市黒田庄町黒田である！との説をご存知でしょうか？

黒田官兵衛は、戦国時代に活躍した武将で、天下統一を成し遂げた豊臣秀吉を支えた稀代の軍師としてその名が知られています。

生誕説は、昭和四七年に旧黒田庄町で刊行された「黒田庄町史」で発表されるなど、地元では古くから唱えられていましたが、当時はあまり注目されることはありませんでした。

しかし、平成二三年に播磨黒田氏研究会が「播磨古事」の研究過程において、莊嚴寺(西脇市黒田庄町黒田)に所蔵されている「莊嚴寺本黒田家略系図」に着目し、研究を深めていくなかで、「黒田氏と黒田官兵衛は黒田庄町黒田の出自である」との説を主張され、一躍脚光を浴びることとなりました。

そこで、西脇市では、大河ドラマ放映という格好の機会を捉え、官兵衛ゆかりの地としてのPRを進めています。

黒田庄地区には、「莊嚴寺」をはじめ、三木合戦の際、豊臣秀吉が官兵衛に戦勝祈願をさせた古社「兵主神社」、黒田家屋敷跡で、官兵衛が生まれたとされる「姥が懐」などの見所があり、ドラマ放映開始後は、ゆかりの地を訪れる観光客も増えています。

## 西脇市

今年九月二七日(土)に「官兵衛ナイト」、十一月六日(日)に「黒田の里官兵衛まつり」を、ともに莊嚴寺で開催します。

「官兵衛ナイト」では、莊嚴寺の参道を中心に地元の小中学生らが手作りしたキャンドルの灯りを飾り楽しむキャンドルナイトやジャズライブ、スタンプリリーなどが、「黒田の里官兵衛まつり」では、甲冑武者や子ども武者、着物姿の女性達が和太鼓の勇ましい音に合わせて練り歩く甲冑行列

や、バンド演奏などのステージイベントが行われる予定です。これらのゆかりの名所やイベントなどを通じて、「官兵衛の里・西脇市」をPRしていきますので、皆さんも、この機会にぜひ西脇市にお越しください。



へそのかんちゃん

### 編集後記

朝夕はだいぶ涼しくなりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今月も各地区から多数のご寄稿ありがとうございました。今月号では、第二五回兵庫県消防操法大会について掲載しております。

県大会にむけて厳しい練習を積み重ねて出場された選手の皆様、応援にきてくださった皆様、ありがとうございました。

全国大会に出場される福崎町消防団の皆様におかれましては、優秀な成績を収められるよう、事務局一同お祈りしております。

夏の疲れが出やすい時期、くれぐれも体調を崩さぬようご自愛ください。

### 【お詫びと訂正】

「兵庫消防」平成二六年八月一日発行第六五三号「がんばっています、女性消防団」の記事の氏名・所属に誤りがありました。

関係各位の皆さまに深くお詫び申し上げますとともに、再発防止に努めます。

(誤) 丹波市女性消防団

女性消防分団 西本 富子

(正) 神戸市北消防団

長尾支団 岡嶋 真弓